

(19) その他の取組について

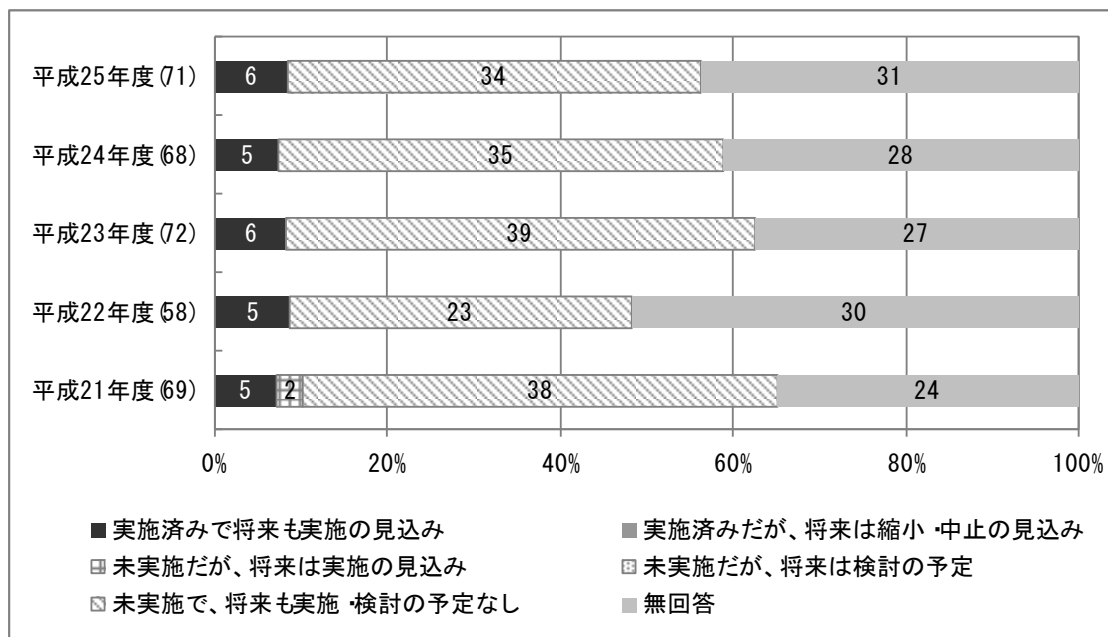
■今年度の特徴

「実施済みで、将来も実施の見込み」が1割弱にとどまっている。一方、「未実施で、将来も実施・検討の予定なし」が5割弱となっている。

■トレンド

実施済みは、ほぼ横ばいで推移している。

その他取組について（政令市・中核市・特別区）



- 「実施済みで、将来も実施の見込み」が6件（8%）、「未実施で、将来も実施・検討の予定なし」が34件（48%）となっている。

＜その他の取組に対する特徴的な回答＞

自治体	回答内容
新宿区	<p>前述の「新宿エコ自慢ポイント」により、区民のレジ袋辞退を促すとともに、『新宿発「エコなくらし」3R 協働宣言』を周知する中で、レジ袋の削減をアピールしていく。事業者においては、行動計画の中でレジ袋辞退率削減目標を立てるなど、消費者に対して取組の姿勢を示すものとなっている。</p>
青森市	<p>県が実施している「レジ袋無料配布の取り止め（レジ袋有料化）に関する協定」に対し、協定に参加している行政団体の一員として、本市に店舗を構えている事業者に対して、機会があれば参加を呼びかけていく予定である。</p>
郡山市	<p>オリジナルエコソング「涙のレジ袋」を作成し、本市のウェブサイトにて公開している。</p>
葛飾区	<p>区内2商店街において、マイバッグを利用することでポイントを貯め、一定のポイントが貯まったら景品を配布する取組を実施しており、行政は景品やポイントカードの支援を行っている。</p>
岡山市	<p>10月に4R啓発の実施、1月には岡山大学と連携した環境イベントにおいて、マイバッグの推進の啓発を行っている。</p>
西宮市	<ul style="list-style-type: none"> ① レジ袋の無料配布を中止する ② レジ袋の収益金を環境保全活動等に活用する ③ レジ袋を辞退された市民に対して物品等を提供する（ポイント制等） ④ 繰り返し使用が可能な買い物袋（マイバッグ・マイバスケット）等を提供する ⑤ ノー！レジ袋の日を設け、買い物袋持参（マイバッグ・マイバスケット）を促進する ⑥ レジ袋削減への取組をポスターやチラシ等で啓発する ⑦ 商品の量り売りなど（生鮮食品等の販売で袋詰めすることを控える）促進する ⑧ トレイ、ラップ、紙製容器包装の削減など、発生抑制や排出抑制を促進する